

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひかりの森		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 29日		2026年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2026年 1月 29日		2026年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境：公園に隣接し、自然が豊かである事、走り回れたり、ボール遊び等にも適した環境がある。散歩の地域の方や他の児童との接点がある。	自然の中で学べる事（抗えない現実を受け入れる葛藤や小動物、昆虫等を通じた命の尊さ、外での小集団による遊びの中でのコミュニケーションや他者への意識。落ち葉を踏みしめる、風が頬をなでる、砂が指をすり抜ける、木漏れ日を楽しむ等の音や感覚の遊び） 発散の場	年間を通じた遊びの幅の充実。遊びを見守れる体制
2	愛情形成に困難さがある児童の対応	つらい状況がある場合には、寄り添う支援をおこなっている。	他事業所や関係機関との連携。専門性の学習等
3	支援スタッフに教職経験者が多く、支援体制のベースになっている。	必要な支援や取り組みの方向等を日常的に確認している。	全支援スタッフに情報の共有を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	宿題や学習、読書、個別に静かに過ごしたい時の場所の確保	過ごし方や、過ごす場の確保	過ごし方や、過ごす場の確保の検討
2	児童発達等の障がいの専門性（個別に必要な支援の質）	専門職等の意見やアドバイス等が少ない	必要なアドバイスが必要な時に受けれる体制や相談先の確立。学習会の開催。
3			

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ひかりの森
------	-------

公表日 2026年2月28日

利用児童数 2026年1月29日

13回収数

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	4			
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか。	5	8	1	職員さんの数やお持ちの資格など知る機会があると良いと思いました。	利用者家族説明会等を活用して、知る機会にしていきたい。
	3 事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	13	1			
適切な 支援の 提供	4 こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか。	14	1	1		担当者会議で確認したことを元に、個別支援計画を作成。説明し同意を得ている。
	5 活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか。	10	3	1		外出や、イベント等のあるメリハリのある活動を行ってほしい。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか。	7	5	2	週一回の利用の為、機会がなかった。	外出や交流等が偏ることが無いように配慮した日程の調整を心がけていく。
保護者 への 説明等	7 支援内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	11	1	1		丁寧な説明を行ってほしい。
	8 日頃から子供の状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができていくか。	10	3	1	連絡帳に書いてあるのみです。	送迎時の対面での申し送りを充実させるとともに、会報の発行等日常の様子が伝わる取り組みを行いたい。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6	6	1		定期的に連絡が取れ、日常の様子等が共有できる様な場をつくって行きたい。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか。	4	7	3		保護者会等の開催を取り組みたい。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知、説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	2	1		苦情の受付の体制の周知を行っていく。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか。	10	3	1	電話しても繋がらない。	連絡時間や、メール等の方法の周知を行っていく。連絡の体制を確立する。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	5	2	見ていないので知りません。	ホームページ等の案内し、周知する。活動の内容がわかるような会報等の取り組みを行いたい。
14 個人情報に十分注意しているか	13	1			引き続き十分に注意する。	
非常 時等 の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを作成し、保護者に周知・説明されているか。	8	4	2	週1回の利用なので情報のやり取りの機会が少ない。	各種マニュアル等、訓練等が周知されるように取り組む。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか。	8	5	1	分らない	各種マニュアル等、訓練等が周知されるように取り組む。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	9	2			※未回答 3
	18 事業所の支援に満足しているか。	7	3	1	言葉でのコミュニケーションが難しいので大変な面も多いと思いますが配慮いただいております。	今後も言葉以外のコミュニケーションの児童も含め、安心して過ごせる場所を目指して行きたい。 ※未回答 3

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		ひかりの森		公表日		2026年 2月28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・意見	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係が適切であるか。	2	4	・交流ホールを利用したり公園に連れだしたりしている ・元気に動き回れる空間が確保できていない	小集団で使用する空間はあるが、個別に使用できる場所が確保できない。現在使用していない他の場所の使用も含めて使い方の工夫が必要	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	・適切だと思われる日やそうでない日がある ・基準に沿った職員を配置している	児童の個性によって、対応が困難さがある。活動の内容や場所等の工夫や、体制の検討を行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	3	適切になされているとはまだ言い難いのではないか	個別なニーズに対応できる様、現在出来る対応を行う。(視覚支援や、音に対する対応、密集しすぎない等)	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	3	もう少しスペースの確保が必要だ	現在使用していない他の場所の使用も含めて使い方の工夫が必要。検討を行う。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	4	・個別の部屋がない為、事業所の車両で必要な児童をドライブ等に連れて行っている ・個別の部屋の確保ができていない	個別なニーズに対応できる様、現在出来る対応を行う。現在使用していない他の場所の使用も含めて使い方の工夫が必要。検討を行う。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	3	・もっと目標設定を具体的に示していく必要がある。 ・組織としてのPDCAサイクルが示されていない	PDCAサイクルの充実に取り組む。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	3	・今回はじめてアンケートによる保護者向け評価表作成を作成	今回の評価表を今後の取り組みに活かしたい。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	・設けてあるがもっと必要だ ・機会が不十分。	聞き取りの場を設ける。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	外部評価は実施されているがその報告がない	経理は税理士の指導を毎月受けて適正に処理を行っている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		定期的に研修を行っている	引き続き取り組んでいく。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	2	・ホームページに公表されているが周知徹底がなされていない ・全職員に周知されていない	ホームページで公表している。周知する。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	2	・知る機会が不十分	作成し個人のファイルで管理している。周知し活用できるようにする。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	2	共通理解を図るミーティングが不十分。	ケース会議にて確認している。共有の場の設定と記録の共有を行っていく。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	3	共通理解を図るミーティングが不十分。	ケース会議にて確認している。共有の場の設定と記録の共有を行っていく。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	3	まだ不十分ではないか	定まったツールは使用していない。検討をしていく。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	3	・実績として成果がはっきり出ているとは言えない ・具体的な支援内容を設定し全員に周知すべきである	担当者会議を基に個別支援計画にて設定し、ケース会議にて確認している。共有の場の設定と記録の共有を行っていく。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2	チームで行われているかを知らない	運営会議等で作成している。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・固定されていない ・10ヶ月程なので試行錯誤の繰り返し	日常の様子を見ながら、柔軟に対応している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	計画的に実行されていない	日常の様子を見ながら、柔軟に対応している。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	全職員で行われていない	毎日ミーティングで確認している。ミーティングに参加しないスタッフの情報共有が課題。検討し共有していきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3	全職員で行われていない	振り返りの時間が翌日になっている。検討し共有できる様にしていきたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		記録は取られているが全職員が見る事が出来ない	記録し、個人のファイルで管理している。常時共有できるようにしていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1	見直しながされているかどうか知る機会がない	定期的にモニタリングを行い、計画の見直しを行っている。個人のファイルで管理している。常時共有できるようにしていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	2	・地域交流の機会を増やしていきたい ・地域交流の場を増やしていきたい ・4つの基本活動をよく知らない	4つの基本活動の充実を図りたい。地域交流の機会を増やせる様計画していく。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	5	1	このような力を身につけるための活動を工夫する必要がある	自己選択できるような支援につながる様、コミュニケーションや活動の内容の検討を行う。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		参画している	複数のスタッフ出席が困難なことが多いが課題
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2	この体制があるかどうかを知らない	担当者会議で確認が行われ、役割分担がなされている。協力医療機関、連携放デイ施設あり。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		できる範囲で行っている	学校行事や下校時間の確認が学校によっては困難なことが度々ある。課題だ。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	全職員に情報が共有されていない	他事業所や幼稚園、保育所の情報提供はスムーズに行われている。担当者会議等で確認できている。ミーティング等を活用し共有を図る。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	3	・卒業生がいない。 ・まだ経験がない	行われていない。 ※未回答1
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3	・全職員に情報が共有されていない ・全体でその機会が確保できるとよい	児童家庭支援センターとの情報の共有は行われ担当者会議が開催されている。ミーティング等を活用し共有を図る。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	・地域の方達との触れ合う場がある（公園、買い物等） ・全職員に情報が共有されていない ・全体でその機会が確保できるとよい	地域との交流等に取り組みたい。地域の行事参加等を検討する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2	・全職員に情報が共有されていない ・全体でその機会が確保できるとよい	引き続き参加していく。情報の共有を行っている。ミーティング等を活用し共有を図る。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・連絡ノートで情報交換を行っている ・努力はしているが、共通理解を持っているとは言えない	対面での共有の機会を計画していく。会報等の発行等行っていきたい。ミーティング等を活用し共有を図る。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4	・回数を増やす必要がある ・実施できていない	対面での共有の機会を計画していく。 相談支援、他事業所等と連携し計画していく
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・事前に行っていると思われる ・契約時に説明はしているが利用開始後も丁寧な説明が必要である	利用開始時、担当者会議の際や、個別支援計画作成の際に行っている。必要な際は丁寧な説明を行う。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		機会を設けていると思われる	送迎時の対面での申し送りや、会報の発行等日常の様子が伝わる取り組みを行いたい。担当者会議で確認し、計画していく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		同意を得ていると思われる	担当者会議の内容を元に、個別支援計画の作成の際に行っている。丁寧な説明を行ってきたい。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・支援を行っている ・支援は行っているが、適切かどうかはわからない	相談を受けた場合は、相談を受け支援を行っている。相談支援と連携し対応している。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6	・行っていない ・父母の会の活動を支援することはできていない	保護者会等を開催できる様計画していく。毎年3月に家族説明会を行う予定。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・迅速かつ適切に対応するよう努力している ・対応はしているが、全職員への情報提供がない	苦情対応体制を活用し、対応していく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	2	4	・連絡帳、及び送迎時、担当者会議で画像等で情報を発信している ・行われているかどうかを知らない	日常の様子を発信できる様、会報等の発行をしていきたい。日常の様子の知れる方法を検討する。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		重要な書類は鍵のかかる所に保管してある	個人情報の取り扱いの同意を整備している。意識して運営していく。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		出来る限りで配慮している	家族との連絡等が取れない場合は、対面での連絡等を行っている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	交流機会を持てる様な行事を開催していない	見学等受け入れしている、行政や他事業所、民生委員や児童家庭支援センター等の見学があった。インターンや、学生ボランティアの受け入れも行っている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	3	・なされていない ・全部はできていない ・家族への周知が完全ではない	説明、周知を行っていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	・2月、3月で実施予定 ・避難訓練は実施した。	訓練や周知を行っていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		事前に確認している	利用開始時に確認を行っている。引き続き行う。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		対応している	利用開始時に確認を行っている。引き続き行う。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	2	安全計画書を全職員が確認できていない	説明、周知を行っていく。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	3	・全職員が確認できていない ・家族等への周知の徹底が必要	説明、周知を行っていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	2	ヒヤリハットへの方策を聞いたことがない。小さな怪我でもすべて記録して職員間で周知した方がよい	ヒヤリハットの取り組みを行う。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		研修を実施してきた	引き続き研修の機会を持っていく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1	・個別支援計画書で説明している ・全職員に情報が共有できていない	身体拘束委員会をひかりの森で開催し、法人の虐待防止委員会に報告をするようにしている。	